

展示物の更新について

1 基本コンセプト

体験型の展示物を増やすことによって、水道記念館の学習施設としての魅力を高めるとともに、水道に関する来館者の知識定着を図る。

2 更新内容の概要

下記を参考に企画提案すること。

(1) 展示内容に関するクイズに答えてコイン（＝ポイント）を集め、館内を楽しく回る仕組みをつくる。

ア 更新の目的

- ・世代を問わず、来館者が水道記念館内の展示を全て体験したいと思えるような仕組みをつくる。

イ 設置場所

- ・既存展示物は撤去せず、空いているスペースにクイズコーナーを設置する。

ウ 留意事項

- ・各コーナーで得たポイントを合計できるようにすること。
- ・退館時、集めたコインの合計数やランキング順位を確認できるようにすること。
- ・クイズコーナーのデザインは、施設として統一感があるものとし、クイズコーナー全体で一つの展示物として認識できるようなものにする。

(2) 水抜きの方法を学ぶ展示をつくる

ア 更新の目的

- ・水抜きの方法について楽しみながら学ぶ機会をつくること。また、水抜きをしなければ、水道管凍結の危険があることを体感してもらうことで、水抜きの重要性に対する認知度の向上を図る。

イ 設置場所

- ・現在の世界の水事情コーナー（別紙「図面」を参照）を撤去して設置する。

ウ 留意事項

- ・作業の成否がはっきりと分かるよう演出すること。
- ・日常における水抜き作業をイメージしやすいグラフィックの展示物とすること。

3 展示物の企画立案にあたっての共通事項

- (1) 既存展示物との調和・関連性などに配慮すること。
- (2) 札幌市水道記念館の基本理念・目的に合致し、各展示コーナーのテーマを逸脱しな

い展示内容とすること。

- (3) 見るだけではなく、興味関心をもってもらえるような参加・体験型の展示を歓迎する。
- (4) 陳腐化が早い内容や、既存展示物及び類似施設の展示物と重複する展示内容を避けること。
- (5) 長期使用（目安 10 年）を前提とし、十分な耐久性を持たせること。また、コンピュータ等の電子機器の更新が必要な装置は、長期使用に適するか十分に考慮すること。
- (6) 展示物に使用する部品及び機器は J I S 規格のものを使用し、修繕可能なものとする。展示内容によって消耗品が必要な場合は、汎用品での対処が容易なものを採用するなど、保守管理の観点から、できるだけ経費や労力がかからないように配慮すること。
- (7) 展示物の操作及びコーナーの運営に関しては、解説等を行う案内員の配置は想定していないため、無人運営を基本として企画立案すること。
- (8) 新たな展示物の設置に伴う既存の館内表示の書き換え等に要する費用は、別途委託者が負担する。

4 既存展示物の撤去（産業廃棄物としての処分）

既存展示物の撤去については、展示物製作業務内で実施することから、本設計業務において展示物製作の概算見積に撤去費用（産業廃棄物の運搬・処分費用を含む）も計上すること。

5 札幌市水道記念館の基本理念等

希望者は、平成 19 年に水道記念館をリニューアルした際に策定した基本構想資料を参照することができる。